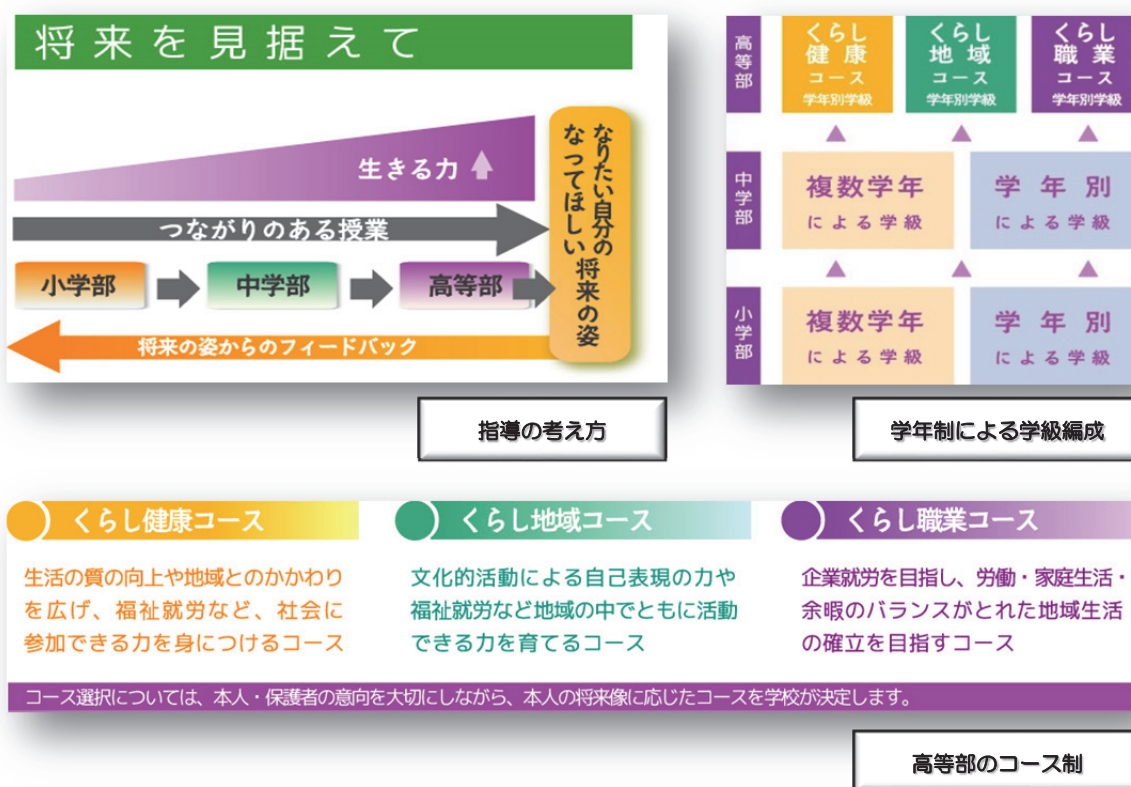


障害があり、将来は企業就労を希望する子ども達も多く在籍しています。

イ 指導の考え方

本校の教育目標は、開校年度より「自律 ～生活に生きるすべを学ぶ～」としています。これは子ども達一人一人が、学校にいる間に精一杯自分一人のできることを増やし、卒業後にこの宇治市・城陽市で、様々な人とつながり、必要な支援を受けながら自分の持てる力を100%発揮して、より良く暮らし、働くための意欲や能力をはぐくむことを意味しています。

この教育目標を実現するために、本校では、全ての学部において、子ども達一人一人の卒業後の姿から教育内容をフィードバックして考え、そして、それらを積み上げながら学んでいけるように、基本的に学年制による学級を編成しています（肢体不自由を主たる障害とする学級は学年に配慮した複数学年編制）。また、高等部では、将来の具体的な姿に合わせて3つのコースに分かれて学級を編成しています。



学習は、「各教科等を合わせた指導」を基本とし、将来の生活に必要な各教科の内容を主体的な活動をとおして学べるようにしています。学習の中心となるのは、小学部は、低学年では「遊びの指導」、高学年では「生活単元学習」であり、中学部は、「生活単元学習」に加えて「作業学習」にも取り組みます。そして、高等部は、「作業学習」が中心となります。また、すべての学部で「日常生活の指導」を設定し、生活の質の向上に向けた学習に毎日取り組んでいます。また、肢体不自由を主たる障害とする学級では、自立活動「時間における指導」を設定し、「自立活動支援担当」と連携し、毎日の学習を欠